

科目名	数的推理 II	科目分類	<input type="checkbox"/> 専門科目群 (第1グループ)
			<input checked="" type="checkbox"/> 総合科目群 (第2グループ)
			全学科 <input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択
			学科 <input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択
英文表記	Mathematical Processing Skills II	開講年次	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input checked="" type="checkbox"/> 2年 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 <input checked="" type="checkbox"/> 4年
ふりがな	むらなか たかし	開講期間	<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中
担当者名	村中 孝司	修得単位	2単位
授業のテーマ	公務員採用試験の教養科目のうち、最も出題数の多い数的推理に取り組む。		
到達目標	数的推理マスター		
授業概要	公務員試験教養科目「数的推理」の基本を理解し、演習問題を解く。		
授業計画			
第1回	ガイダンス		
第2回	比・割合① 比・割合		
第3回	比・割合② 濃度、仕事算		
第4回	速さ・距離・時間① 速さ・距離・時間		
第5回	速さ・距離・時間② 流水算、通過算		
第6回	座標・グラフ・数列① 座標・グラフ		
第7回	座標・グラフ・数列② 一次関数、直線、ダイアグラム		
第8回	座標・グラフ・数列③ 数列		
第9回	場合の数① 場合の数、順列		
第10回	場合の数② 組合せ、重複組合せ		
第11回	確率① 確率、和事象、積事象		
第12回	確率② 独立試行の確率		
第13回	平面図形① 平行線、線分		
第14回	平面図形② 面積、三平方の定理		
第15回	空間図形 体積、表面積		
第16回	定期試験		
授業時間外の学習	小学校算数、中学校数学、高等学校数学I・Aを理解しておくこと。 予習1時間半、復習1時間半程度必要。		
履修条件 受講のルール	公務員(大学卒程度)を目指す学生。基礎数学I・IIを併せて履修することが望ましい。 高等学校数学I・A、および基礎数学Iの内容を理解していることを前提に授業を進める。 遅刻厳禁、厳しく対処する。 教科書を必ず購入してください。また、適宜資料を配布しますが、欠席した学生には配布しません。		
テキスト	田辺勉『上・中級公務員 標準数的推理』実務教育出版		
参考文献・資料	講義中に紹介する。		
成績評価の方法	試験(80%)、レポート・課題提出・小テスト(20%) 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。		

	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解、および予習復習が充分であることを確認するため、授業中に小テストを行います。 ・レポート課題は授業内又は掲示板で指示します。
オフィスアワー	火曜 14:40～16:10、水曜 14:40～16:10
成績評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度以降入学者 秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下) ・平成 27 年度以前入学者 優(100～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
学生へのメッセージ	テキストの購入は必須。持参しない学生の受講は認めません。